

新市場進出等支援事業

令和3年度概算要求額 6.1億円（4.5億円）

事業の内容

事業目的・概要

- ロシアとの経済協力関係を深化させることは、資源確保・エネルギー安全保障等の観点から重要であるだけでなく、中堅・中小企業等による新市場の開拓に大いに寄与します。2016年5月には、日露首脳会談で、安倍総理がロシアの生活環境大国、産業・経済の革新のための協力プランを提示しました。
- 特に令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大によるサプライチェーンの寸断やサービスの提供停止を含む深刻な影響を防止するために、従来の取組に加えて、以下の取組を強化します。
 - ① コロナ禍によるサービスの停止・滞りがないように生産ラインの最適化を図るべく、日本の専門家によるロシア企業のIT化を含む生産性診断及び改善指導の取組を強化します。また、日本の技術導入による生産性向上「モデル工場」の実現を検討していきます。
 - ② コロナ対策を踏まえた安定したサプライチェーンの構築を促進するべく、従来の取組に加えて、ロシアの製造業等に従事するラインマネージャークラスや役員クラスの人材を対象に、生産工場の現場視察や日本の管理技術・設備、IT化に関する研修等の取組を強化します。

成果目標

- これら事業により、日本の最先端設備をロシア企業に導入することを目指すとともに、ロシア企業の実業性向上により、ロシアに進出している日系企業の部品等の調達条件が改善され、ひいては日系企業の市場シェア拡大につながることを期待されます。
- その結果、日露貿易・投資関係が拡大し、令和3年までに日露貿易総額の前年度比増加、ロシアへの進出企業数（モスクワジャパンクラブ法人会員数）200社を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

国

委託

民間団体等

事業イメージ

① 生産性診断事業及び生産性向上「モデル工場」

日本の専門家

(派遣) ↓

ロシア企業

生産現場等の生産性を診断（コロナ対策を踏まえた生産ライン最適化、IT化、在庫管理、4S、最先端の機械、設備の導入提案等）
日本の技術導入による生産ラインの改善提案を通じた、生産性向上「モデル工場」の実現を検討し、コロナ対策を踏まえた生産ラインの最適化を図る。

② 人材育成事業

ロシア企業（製造業等）
ラインマネージャー、役員クラス

(招聘) ↓

日本企業等

コロナ対策を踏まえたIT化に関する研修、日本のものづくり現場の視察、管理技術・設備等

- ・ 日本の最先端設備の導入
- ・ コロナ対策を踏まえた安定したサプライチェーンの構築を促進
- ・ ロシア企業の実業性向上による、ロシア進出日系企業の現地調達率の改善
- ・ 日本企業のロシア市場での競争力の強化を通じたシェアの拡大等の効果が期待されます。